※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)日本史演習Ａ	単位数	２単位	年次	３年次前期
使用教科書	日本史探究「詳説日本史」　（山川出版社）						
副教材等	最新日本史図表　（第一学習社）　新日本史研究ノート応用編　（啓隆社） 4ステージ演習ノート日本史（数研出版）　山川一問一答日本史（山川出版社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

様々な資料や史料を読み解き、その時代の特質を理解してほしい。また「世界の中の日本」という観点を忘れず、世界の動向をよく理解してほしい。また、史料読解や問題演習にも積極的に取り組んでほしい。

２　学習の到達目標

この科目は、近現代史を中心に講義を行う。また、史料読解や問題演習を行い、より深く歴史を理解する。
(1)我が国の歴史の展開を諸資料に基づき、地理的条件や世界史との関連を総合的に考察し、我が国の伝統と文化の特色について認識を深める。また、我が国の歴史に関する諸情報を適切に調べてまとめる技能を身につけるようにする。
(2)我が国の歴史の展開に関わる諸事象の意味や時期、推移、相互の関連、現在とのつながりなどに着目して多面的に考察することを身につける。また諸課題を把握し、解決を視野に入れて構想する力や、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
(3)我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に入れ、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、歴史的思考力を培い、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深め、国際社会に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の展開について、世界の歴史と関連づけながら各時代の特色および変遷を総合的に考察し、我が国の伝統と文化についての知識を身につけている。	歴史的事象から課題を見いだし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	歴史的事象に対する関心を高め意欲的に追究するとともに、歴史的経緯をふまえた現代の日本の課題の探求に真摯に取り組み、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第Ⅲ部近世	第9章幕藩体制の成立と展開 2幕藩社会の構造 3幕政の安定 4経済の発展 5元禄文化 第10章幕藩体制の動揺 1幕政の改革 2宝暦･天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4化政文化	a:左記の内容に関する歴史用語を理解し、その知識を身につけている。 b:左記の内容に関する歴史的事象を、資料に基づき多面的・多角的に考察し、表現している。 c:左記の内容に関してノートやプリントの作成などに主体的に取り組み、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ﾉｰﾄ 確認ﾃｽﾄ 振り返りｼｰﾄ
	第Ⅳ部近代・現代	第 11 章近世から近代へ 1開国と幕末の動乱 2幕府の滅亡と新政府の発足 第12章近代国家の成立 1明治維新と富国強兵 2立憲国家の成立 第13章近代国家の展開 1日清･日露戦争と国際関係 2第一次世界大戦と日本 3ワシントン体制	a:左記の内容に関する歴史用語を理解し、その知識を身につけている。 b:左記の内容に関する歴史的事象を、資料に基づき多面的・多角的に考察し、表現している。 c:左記の内容に関してノートやプリントの作成などに主体的に取り組み、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ﾉｰﾄ 確認ﾃｽﾄ 振り返りｼｰﾄ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度